（別記１－４様式）

平成　　年　　月　　日

三原市長　　様

対象組織代表

　氏　名　　　　印

○○年度　多面的機能支払交付金に係る地域資源保全管理構想の届出書

　多面的機能支払交付金実施要領（平成26年４月１日付け25農振第2255号農林水産事務次官依命通知）第１の２の（２）に基づき、別添のとおり、地域資源保全管理構想を提出します。

（別添）

○○地区地域資源保全管理構想

（○年○月作成）

１．地域で保全管理していく農用地及び施設

・対象とする農用地、施設の範囲、数量、位置を記載する。

・「その他施設等」には、鳥獣害防止施設、防風林等その他の地域で保全管理していく施設について記載する。

（１）農用地

（２）水路、農道、ため池

（３）その他施設等

２．地域の共同活動で行う保全管理活動

・対象とする活動の範囲、内容を記載する。

（１）農用地について行う活動

（２）水路、農道、ため池について行う活動

（３）その他施設について行う活動

３．地域の共同活動の実施体制

・担い手農家、それ以外の農家、土地持ち非農家、地域住民等の参画等を記載する。

（１）組織の構成員、意思決定方法

（２）構成員の役割分担

　　① 農用地について行う活動

　　② 水路、農道、ため池について行う活動

　　③ その他施設について行う活動

４．地域農業の担い手の育成・確保

・人・農地プラン等を基に、担い手農家、農地集積の現状及び目標を記載する。

（１）担い手農家の育成・確保

（２）農地の利用集積

５．適切な保全管理に向けて取り組む活動・方策

・作成後５年程度を見通し、今後の課題、目指すべき姿、そのために取り組むべき活動・方策を記載する。

（取り組むべき活動・方策の例）

　・組織体制の強化や活動の拡大を図るための広域組織化やＮＰＯ法人化

例1：地域の小規模農家、兼業農家全てが集落営農組織（◯○営農組合）に参画することで地域の（集落単位の）農業生産体制を整備強化し、集落営農組織との協力と役割分担により、集落ぐるみの保全管理体制の強化を図る。

例2：担い手（中心経営体）に更なる農地集積・集約を進め地域の農業生産体制を整備強化し、担い手との協力・役割分担により保全管理を図る。

例3：活動組織の広域化に伴い、NPO法人化することで生産管理体制の強化を図る。

　・農地や施設、地域環境を保全するための農地周辺部の活動拡大や遊休農地の有効利用

例1：農地周辺部の整備保全を◯○事業により実施し、獣害対策を強化することで農用地及び施設の保全を図る

例2：遊休農地で◯○を栽培することで活用し、農地や地域環境の保全を図る。

　・地域を守る取組の魅力を情報発信する活動、活動への新たな参画者を募る活動

例1：活動組織ＨＰを活用し、取り組み内容の紹介や地域の魅力を発信し、外部の活動参画者を募集することで保全管理活動の継続や強化を図る。

　・地域の景観・環境の維持等、地域資源の魅力を高め、関心を高める活動

例1：地域の景観・環境を維持し、地域の魅力を高めることで、地域内外のこれまで活動に参加されていない人々の参加を促し、保全管理活動の継続や強化を図る。

　・保全管理の省力化のための簡易な基盤整備や機械化、保全管理に必要な施設整備

例1農用地の条件を向上することで担い手への集積を進め、地域農業生産体制を整備強化し、役割分担により集落ぐるみの保全管理体制の強化を図る。

　　　※ ため池やその他施設等は、該当がない場合は、項目を削除する。